

令和5年第1回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏名	質問順	氏名
1	菅原 福治	1 0	安住 稔幸
2	菊池 美穂	1 1	畑山 和晴
3	出川 博一	1 2	村上 治
4	渡邊 俊一	1 3	藤原 峻
5	金子 透	1 4	渡邊 清美
6	佐藤 浩崇	1 5	若生 英俊
7	長谷川る美	1 6	高橋 正俊
8	浅野 武志	1 7	塩田 智明
9	浅野 直子		

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	2月16日(木)
受付時間	9:01

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月16日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 13 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	一括 ・ 一問一答

No. 1 質問件名 若生市政3期目における財政健全化等諸取組みについて

【質問要旨】－簡明に－

若生市長は、富谷市長選挙戦において8年間の実績と12の重点方針、公約を掲げ当選し3期目に入りました。

若生市政3期目にあたり財政の健全化等を始めとした、以下の諸項目についての見解を伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 市長の3期目に懸ける思いと意気込み、また、投票率等の課題について。
- 2 今後の、大型事業を踏まえた財政健全化の具体的な取組みについて。(予算編成過程の見直し、行財政改革、財政調整基金の確保と繰り入れゼロについて等)
- 3 本市に合築が計画されている総合病院が担う役割りと、その他、現在検討されている事項について。
- 4 「こども家庭庁」設置に対する市の対応について。
- 5 成田二期北工業用地への、新たな企業誘致の実現に向けた、業種等も含めた考え方について。

答弁を求める者 市長

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	一括 ・ 一問一答

No. 2 質問件名 公営墓地の具体的内容について

【質問要旨】－簡明に－

多くの市民は公営墓地の開始を待ち望んでいます。

お墓を求める際は、ある程度の予備知識と情報が必要です。本市の公営墓地に絞り込んで購入を検討している方は、募集のタイミングや抽選の結果によっては、墓の建立が進まないことを心配している方がおり、早目の詳細な内容の情報提供が必要です。

墓地の供用開始が迫る中で、具体的な内容と墓地の条例等、以下の点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 宗教・宗派の区別は。
- 2 墓地の工期別施設規模の変更はないか。(1期800・2期600・3期600の合計2,000基の内訳として、和式300・芝生900・合葬800)
- 3 和式、芝生墓地の場所は選べるのか。
- 4 供用開始は12月で変更はないか、そのためには、何時頃からの募集、抽選会等を計画するのか。
- 5 墓地までのアクセスについて。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	2月16日(木)
受付時間	9:10

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月 16日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 2 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 100年間人が増え続けるまちを目指す子ども施策を問う

【質問要旨】－簡明に－

少子化問題は、「国難」「静かなる有事」とも表現され、経済産業や社会保障の問題にとどまらず、国や社会の存立基盤に関わる先送りの許されない深刻な課題です。

市長は3期目の公約として100年間人が増え続けるまちを掲げ、本市の自然出生率を上げるとのお言葉もありました。国が「異次元の少子化対策」を掲げる中で4月には「こども家庭庁」が発足し、自治体の自由度の高い事業も多く見込まれます。子どもにやさしいまちづくりを推進している本市でこそ、子ども施策は全庁一丸となり企業や全世代を巻き込み、地域全体で子育てをしようという全員意識の共有が重要です。

出生率を上げ少子化を突破するには、社会的な機運の醸成とともに、きめ細かな具体策の積み重ねが重要であると考え、提案を含め以下質問をします。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の出生率、合計特殊出生率の推移と要因の分析、今後の見込みは。
- 2 児童虐待相談件数の推移と、子ども家庭総合支援拠点設置の成果は。
- 3 仕事と育児の両立のため、職員の産後パパ育休の取得状況と市内周知について。
- 4 国のこどもの安全対策として、送迎用バス安全装置や登園管理システム、見守りタグ(G P S)の導入支援、安全管理マニュアルの研修支援の周知と現状確認は。
- 5 保育所での使用済みおむつ処分が推奨されましたが、現状は。
- 6 プレコンセプションケアに関する社会教育、厚労省の「スマート保健相談室」の普及啓発について。
- 7 こども基本法に掲げられた、政策反映のための「こどもの意見表明機会の確保」「こどもの意見の尊重」を、どのような手法で行いますか。
- 8 恒久化が検討されている、出産子育て応援交付金の配布方法について。
- 9 子育て支援パスポートのような、市内企業と連携した、子育て家庭が協賛店で独自サービスを受けられる仕組みの構築は。
- 10 多子世帯の保育料負担軽減について、所得に関わらず小学1年生以降も対象とするなど、市独自に拡充する考えは。また、多胎児家庭への支援の考えは。
- 11 特に費用の掛かる、高校生の通学費助成の考えは。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	2月16日(木)
受付時間	10:44

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月16日

富谷市議会

議長 青柳信義 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	出川 博一
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 1 質問件名 三期目の新年度予算編成は

【質問要旨】－簡明に－

「子供にやさしいまちづくり実践予算」と形容された、令和5年度予算案について、選挙公約に掲げた「12の重点方針」を中心に、以下質問します。

(なお、関係機関の協力に大きく左右される総合病院誘致、富谷ジャンクションのフル化、成田二期北工業用地に新たな企業誘致実現は除きます。)

【質問項目】－列記－

- 1 重点方針中「令和5年度から」と期限を明示した3項目の具体的な方針は。
 - ① 学校給食費完全無償化。
 - ② 子ども医療費（18歳まで）完全無料化。
 - ③ 国保税の引き下げ。
 - 2 その他、重点方針の今後の対応等は。
 - ① 基幹公共交通システムの整備促進。
 - ② 市民図書館等複合施設整備。
 - ③ 重度障害者等ガソリン利用券助成。
 - ④ アフターコロナの経済施策、安全対策。
 - ⑤ 「とみぱす」チャージを各出張所でも可能に。
 - ⑥ 起業・創業、スタートアップ機能強化。
 - 3 3期目の4年間、腰を据えて人への投資（出生率、高齢化、人口伸び悩み等）が必要と思うが、見解は。
-

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 (仮称) 富谷市ビジネス交流ベース整備事業の進捗は

【質問要旨】－簡明に－

「富谷市では、しんまち地区にある「荷宿」の施設整備を進めています。荷宿は宿場町だった当時、問屋の中心的存在であり人や馬を用意して物流を行う場所でした。

そんな歴史を生かした学びの場、新たな賑わいの場、新たなビジネスの拠点として、生まれ変わります。建物の改修工事中で、完成は3月末頃を予定しています。」と、市のホームページに掲載されていました。

富谷市ビジネス交流ベース整備事業の進捗状況について、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 施設図面でのそれぞれの活用方法は。
(チャレンジスペース、フリースペース、個室スペース、ミーティングルーム)
- 2 入居企業の誘致状況は。
- 3 富谷市ビジネス交流ベース施設の運営方針(活用方法)は。
- 4 産業交流プラザ(TOMI+)・富谷宿観光交流ステーション(とみやど)・ビジネス交流ベース(NIYADO)の今後の連携への構想は。
- 5 令和4年度第二次補正予算(国会令和4年12月2日成立)による補助金を活用しては。

答弁を求める者 市長

議員名	出川 博一
質問方式	一括 一問一答

No. 3 質問件名 小中学校の災害復旧工事について

【質問要旨】－簡明に－

令和4年3月16日に発生した地震に伴う学校施設等の、災害復旧工事の入札結果が思わしくない。

令和4年12月15日の入札では、「あけの平小学校・成田中学校」の災害復旧工事が不調となりました。

令和5年1月19日入札では、上記の「あけの平小学校・成田中学校」とも再度不調、「成田小・富谷小学校」の災害復旧工事が不落との結果となっています。

令和4年3月発生地震における公共施設等の被害と復旧状況について、以下の点について質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 上記4校のほかに、教育関連公共施設で地震被害の復旧工事が完了していない箇所は。
- 2 不調・不落の主な要因と、その対処方策は。
- 3 児童・生徒の安全安心な教育環境の整備は万全か。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	2月16日(木)
受付時間	11:43

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月16日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 16 番 渡邊 俊一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 俊一
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 我が市における限界集落について伺う

【質問要旨】－簡明に－

我が富谷市は仙台市の北隣のまちとしての地の利により著しい発展をし、急激に人口も増加しており、限界集落の質問で議論するのを疑問に思う方も多くおられると思われませんが、新興住宅地以外の旧16地区、特に西成田、明石、石積、大亀、今泉、大童、原、穀田、一、二、三ノ関、志戸田地区においては、高齢化も進み、人口も減少しておる現状であります。

限界集落については、国の定義はなく、各自治体においての見解も異なり、集落内に戸数が5軒から7軒を割り込むような状況などにより、危機的な集落の状況を超えたとき、または、集落における、社会的な共同生活の維持が困難になる状況などと言われており、各自治体の認識では、集落の過疎化や少子高齢化が進み、人口比率の50パーセントが65才以上を占める集落と捉えているものと推察いたします。我が市においても、そのような集落、町内会にならないような対策が必要であると考え次の項目にて質問いたします。

【質問項目】－列記－

- 1 平成2年以降、国勢調査時の南部地区(西成田、明石、石積、大亀、今泉、大童)と、北部地区(一ノ関、二ノ関、三ノ関、志戸田)の各町内会での人口と戸数の増減について伺います。
- 2 少子高齢化が著しい町内会が、どのくらいあり、人口比率の50パーセント以上が65才以上を占める町内会があるか、または、それに近い町内会があるか伺います。
- 3 戸数の少ない町内会において社会的な共同生活の維持が継続されるためにも、市道など、特に志戸田宮前線などを始め、多くの道幅の狭い道路のインフラ整備が必要と考えますが、見解を求めます。
- 4 戸数の少ない町内会において、地域のコミュニテイの維持を図り、活力のある地域をつくるため、大和町などで取り組んでおります、子育て支援事業での子育て支援住宅整備事業等を参考にし、戸数、人口を増やし、町内会の維持と地区の活性化を図ることの必要性について見解を求めます。

答弁を求める者 市長

議 員 名	渡 邊 俊 一
質 問 方 式	一 括 一 問 一 答

No. 2 質問件名 ひより台団地内の歩道改修を急げ

【質問要旨】－簡明に－

歩道の改修工事は、街路樹の根あがりにより歩道のアスファルトが盛り上がり、歩行者がつまずき、転倒したりする恐れがあるため、安全のため改修が行われるのが主ですが、経年劣化による場合もあると思われま

す。そこで歩道の改修工事について、質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 街路樹の根あがりによると思われる歩道の改修工事は、今年度は何ヶ所行っておるか伺います。
- 2 経年劣化による歩道のうち、市道ひより台2丁目の、ひより台9-3号線の歩道については、アスファルトの経年劣化が著しく、特に夜などの歩行に危険を感じ、子供や高齢者などは日中でも、歩道を歩くのにも危険を感じるほどであり、早急な改修工事が必要と考えますが、見解を求めます。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	2月16日(木)
受付時間	15:03

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月16日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 8 番 金子 透

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	金子 透
質問方式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 デマンド型交通運行事業を問う

【質問要旨】－簡明に－

平成30年第4回定例会一般質問にて、デマンドタクシー導入の検討について議論しました。その結果として、令和2年10月1日よりデマンド型運行事業の実証運行が開始され、令和4年4月1日より本格運行が行なわれ現在に至っております。

高齢者・障がい者交通対策事業の「とみぱす」を使って市民バスを利用していただく同様の考え方で、市民バスの利用が困難な方にデマンドタクシーを利用していただく事も可能であると考え、以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 本事業にて現在までの問題点、課題点、その解決策は
- 2 対象地区、対象者の拡大の検討をすべきと考えるが、見解は

答弁を求める者 市長

議員名	金子 透
質問方式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 市営住宅のあり方を問う

【質問要旨】－簡明に－

現在の物価高は日本国民全員に多大な影響を及ぼしています。特にエンゲル係数の高い低所得世帯にとっては深刻です。

令和元年第3回定例会一般質問にて、市営住宅のあり方について議論しました。市営住宅と民間賃貸住宅との家賃の差について、非課税の子育て世帯への支援などについてでした。次世代の担い手である子育て世帯で非課税世帯への支援は今こそ必要であると考え、質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 令和元年から現在までの入居希望者の倍率の推移は
- 2 非課税の子育て世帯に対し、みなし市営住宅との考えから、市営住宅と民間賃貸住宅の家賃の差の支援を行うべきと考えるが、見解は

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	2月16日(木)
受付時間	15:46

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月16日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 1 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	佐藤 浩崇
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 「給食が食べられない」児童生徒への助成について

【質問要旨】－簡明に－

世界規模での歴史的な原油高騰や物価高騰により、子育て世帯の経済的負担が極めて厳しさを増す中、本市は「子どもにやさしいまちづくり」実践自治体として、令和5年度当初からの学校給食費無償化の方針を打ち出しました。現役の子育て世帯のみならず、周囲からこうした方針や取り組みの速さを称賛する声が届いています。

しかしながら、子どもたちの中にはさまざまな理由により、本人の意思とは関係なく「給食が食べられない」人もいます。公平性の観点から、こういった方々への助成があることが望ましいと考えます。

【質問項目】－列記－

- 1 特別支援学校に通学している児童生徒や、富谷市立の学校に通学していてもアレルギー等を持っている児童生徒の中には、本人の意思とは関係なく「給食が食べられない」人がいます。こういった方々への助成があることが望ましいと考えますが、見解は。
- 2 私立の小中学校など、市立小中学校以外へ通学している児童生徒への助成についての見解は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	2月17日(金)
受付時間	10:16

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月17日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 11 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 認知症対策の更なる充実について

【質問要旨】－簡明に－

徘徊をしていたと思われる認知症の高齢者の方を、以前2回保護させていただいた経験を通して、認知症の高齢者の方が安心して暮らせる優しい地域づくりのさらなる推進が必要ではと思います。

また、認知症対策を充実させるために、早期発見をするための有効な取り組みが重要であると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 QRコードつき見守りシールの導入に際し、課題となった点やその活用方法、及び周知について。
- 2 GPS位置情報システムを用いた機器や、見守りキーホルダーの導入についての検討状況は。
- 3 認知症を早期に発見するための本市の取り組みについて。
- 4 「認知症ケアパス」の活用状況は。
- 5 中学校で実施されている認知症サポーター養成講座の開催状況、及び小学校における養成講座開催の検討は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	<input type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 投票率向上に向けての取り組みについて

【質問要旨】－簡明に－

平成27年の公職選挙法の改正により選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられ、平成28年には共通投票所制度の創設や期日前投票所開設時間の弾力化、投票所に入ることができる子供の範囲が拡大されるなど、国においても投票環境の整備に向けて、制度改正が行われています。本市としても、今回の選挙の結果を検証し、これまでも増して、より投票しやすい環境の整備を通し、若者を始め、広く市民に対して選挙意識の啓発や、投票率向上のための取り組みが重要であると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 市長選挙の投票率の分析は。
- 2 各投票所ごとの投票率と年代別投票率の分析は。
- 3 投票率向上に向けた取り組み状況は。
- 4 大型商業施設等に期日前投票所を開設することについての見解は。
- 5 投票所へ行くことが困難な交通弱者に対する移動支援について、また、障がいのある方も安心して投票できる環境の整備に対する取り組みは。
- 6 若者向けの選挙啓発活動の現状と、ポスター掲示板へのQRコード表示についての見解は。
- 7 小中学校における主権者教育の推進等、将来の有権者であるということの意識を持つための取り組みについて。

答弁を求める者 選挙管理委員会委員長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	2月17日(金)
受付時間	13:47

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月17日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 9 番 浅野 武志

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 武志
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 本市の農業施策について

【質問要旨】－簡明に－

農業、農家は、高齢化、担い手不足、生産資材（肥料、農薬、燃料）等の高騰と大変厳しい状況です。このことから、本市の基幹作物の稲作について伺います。

また、富谷市総合計画第6次実施計画にかかげる農業施策について伺います。

【質問項目】－列 記－

1 稲作について。

- ① 令和5年度の本市の生産の目安（トン）と面積換算値（h a）について。
- ② 特別栽培米の令和4年度の作付面積と令和5年度の作付推進について。
- ③ 認定農業者と法人（農業）の令和4年度の数について。
- ④ 農泊、農業体験についてどのように推進しますか。

2 ブルーベリー産地拡大事業について。

- ① 令和4年度の作付本数と栽培面積について。
- ② 今後の作付拡大施策について。

3 新特産果樹定着推進事業について。

- ① 令和4年度のいちじくの栽培戸数と栽培本数について。
- ② 令和4年度のシャインマスカットの栽培戸数と栽培本数について。
- ③ 今後の作付拡大施策について。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	2月17日(金)
受付時間	16:45

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月17日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 17 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 放課後児童クラブについて

【質問要旨】－簡明に－

放課後児童クラブは、学校敷地における安全性も保たれ、専門的なスキルを活かした委託事業者の下で運営されています。各事業者では、コロナ禍での放課後児童クラブ運営に大変ご苦労があったと推察されます。

各学校の登録人数と利用者の実数等も確認しましたが、児童、保護者の声をしっかり把握し、委託事業者に関する評価はなされていますか。

また、委託事業者が変わることによる課題はないのか等、放課後児童クラブに対する内容と、今後建設が始まる東向陽台小学校の放課後児童クラブについてお伺いいたします。

*以下放課後児童クラブを児童クラブとして質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 コロナ禍での児童クラブ運営も大変であったと思いますが、現在の児童クラブの状況等について伺います。
 - 2 児童クラブは、専門性を活かした委託事業者の下で運営されていますが、4事業者による差異はないのか伺います。
 - 3 委託事業者への評価について伺います。
 - 4 支援員の配置について、保護者から男性支援員の配置を要望する声が届いていますが、どのように対応されるのか伺います。
 - 5 共働きも多い状況であり、児童クラブの内容充実が求められています。定期的にケア会議等情報交換は行われていますが、問題解決にはどのように対応されているのか伺います。
 - 6 支援員の資質向上に向けた研修等について伺います。
 - 7 昨年12月の実績では、定員に対する最大利用者数がゆとりある内容であると確認しました。子どもたちにとって大事な時間を過ごしますので、サテライトのさらなる活用についてお伺いいたします。
 - 8 予定されている東向陽台小学校児童クラブの詳細について伺います。
-

答弁を求める者 市長

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 福祉事業について

【質問要旨】－簡明に－

令和4年第4回定例会でも医療的ケア児支援について質問いたしましたが、改めて交通費支援や介護等に対する内容を伺います。

現在、宮城県では、発達障がい者の相談を児童期、成人期として区分されている中で、本市における相談等に対する連携や支援体制、課題についてお伺いいたします。

コロナ禍での生活も続き、コミュニケーション活動の制約などがあり、体力低下が心配されます。このことから、市民の健康維持と地域包括化のために、介護予防や健康づくり、ボランティア活動に参加する市民にポイントを付与する「健康ポイント」や「ボランティアポイント」の普及促進で、楽しく人生100年時代を過ごす取り組みなど推進することも必要であると考え、本市の見解を伺います。

また、福祉の側面から現在未整備となっている点字ブロックについて、継続して整備を求めるため、今後の計画等について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 医療的ケア児の交通費支援と家族への支援について伺います。
 - 2 医療的ケア児等コーディネーターとの連携と継承について伺います。
 - 3 災害時等における医療的ケア児等の支援計画作成について伺います。
 - 4 発達障がい者支援について、自治体が求められる役割は、相談体制の強化と早期発見、早期支援です。ついては、5歳児健診の重要性を求め見解を伺います。
 - 5 人生100年時代が謳われて久しいですが、楽しく健康維持とボランティア活動の推進も今まで以上に計画すべきであると思います。以前にも質問しました健康づくりに「健康ポイント」、ボランティア活動に「ボランティア活動ポイント」などを取り入れて、付与したポイントでマイボトルの提供など、活用できる施策を導入すべきと考え見解を伺います。
 - 6 福祉事業の観点から未整備となっている点字ブロックの整備を求め、当局の見解を伺います。
-

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	10
受付月日	2月20日(月)
受付時間	9:17

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月20日

富谷市議会

議長 青柳信義 殿

富谷市議会議員 15 番 安住 稔幸

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	安住 稔幸
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 奨学金返済の負担軽減について

【質問要旨】－簡明に－

日本国憲法第26条において「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。」とあり、また、教育基本法第4条第3項においても「国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。」とうたわれています。これらに基づき、奨学金事業は、経済的理由により修学に困難がある優れた学生等に対し、教育の機会均等及び人材育成の観点から経済的支援を行う、重要な教育政策です。

日本学生支援機構の2020年度の調査では、なんらかの奨学金を受給している学生の割合は、大学（昼間部）で49.6%、短期大学（昼間部）で56.9%に上り、卒業後の返還の負担に悩む人も少なくありません。若者が夢と希望を持って生きられる環境を整えることが重要です。奨学金返済の負担軽減のために支援制度を設けている自治体、企業が増えてきています。

本市においても、返済の減免規定の改正や免除規定を設けること、奨学金代理返還制度を取り入れた企業への支援等を行うなど、奨学金返済者の経済的負担軽減を求め、以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 奨学金返済の負担軽減策の必要性について。
 - 2 事業者による奨学金代理返還制度についての認識は。
 - 3 奨学金代理返還制度導入事業者への支援について。
 - 4 本市内企業への就職及び本市内への定住による、奨学金返済者への負担軽減策の実施について。
 - 5 本市内企業への就職及び本市内への定住による、本市の奨学金制度での返済の減免規定の改正並びに免除規定の新設について。
-

答弁を求める者 教育長

議員名	安住 稔幸
質問方式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 通学交通費の助成について

【質問要旨】－簡明に－

通学交通費の助成について、特に高校生への通学費の助成については、私は、以前から議会で取り上げてきました。

しかしながら、未だ、本市の具体的な助成について示されておらず、バス代等のご家庭の負担は重くのしかかったままです。

市民の通学交通費の負担軽減を求め、以下、質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 バス代等の通学交通費の負担額が、毎月およそ2万円ほどと思われませんが、この負担についての認識は。
- 2 富谷から泉中央までの通学交通費助成を実施しては。
- 3 高校生の通学を対象とした路線バスのフリーパスの導入検討の状況は。
- 4 負担軽減策に「とみぱす」を活用しては。

答弁を求める者 市長

議 員 名	安住 稔幸
質 問 方 式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input checked="" type="checkbox"/>

No. 3 質問件名 富谷市民図書館等整備事業について

【質問要旨】－簡明に－

富谷市民図書館等整備事業が着々と進められ、2月には、3回目のワークショップが開催されます。

これまでは、図書館、遊戯施設、スイーツステーションの3施設の複合施設として整備が進められていましたが、2回目のワークショップにおいて、図書館、児童屋内遊戯施設、スイーツステーション、公民館の4つの施設が融合する複合施設であることが示されました。

これまでのワークショップには、多くの市民が参加され、市民の期待は高まっていると感じられます。

以下、質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 富谷市民図書館等複合施設基本設計の公表は。
- 2 児童屋内遊戯施設の整備概要について。
- 3 障がいのあるなしに関わらず遊べる遊具の設置について。
- 4 4施設が融合した複合施設の新名称、愛称の公募について。
- 5 第2駐車場に児童屋外遊戯施設を設置する考えは。
- 6 スイーツステーションの整備概要について。
- 7 市民協働活動の拠点、サポートセンター、ワークスペースの設置について。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	11
受付月日	2月20日(月)
受付時間	9:39

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月20日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 7 番 畑山 和晴

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 小学校の学区再編について

【質問要旨】－簡明に－

これまで、特に富ヶ丘小学区については、上桜木地区の児童が4号線を横断して通学することに懸念を抱いている方の声を聞きました。また、中学校も富谷二中と日吉台中に分かれてしまうことの声もありました。

とちの木地区は、4号線沿いを通学し、また、北部道路のインター入り口を横断しなければならないなどの問題を抱えています。

そして、通学距離が2キロ以上で、特に低学年に関しては、スクールバス等の配置も必要となってくると思われます。

他地区でも、新たな団地が造成されることによる学校規模のバランスを考えなければならない時期に来ていると思います。

これらのことを踏まえ、富谷市の未来を担う子供たちが、安心安全に通学ができ、中学校でも同じ仲間に通学できる環境確保が必要であると思います。

また、少子化に対応する本市全体のバランスの取れた学校規模を維持していくためにも、再編については議論していくべきではないかと考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 これまでに学区再編の議論は行われましたか。また、保護者等からの声はありましたか。
- 2 スクールバス等の配置の検討は。(市民バスの利用のお願いではなく)
- 3 学区の適正な区分により、同じ小学校の児童は同じ中学校に進学すべきであると思いますが、見解は。
- 4 少子化を見据え、バランスの取れた学校規模を維持していくことが必要と考えるが、見解は。
- 5 小学校の学区の再編について、プロジェクトチームなどを設置し、本格的に検討していく時期に来ていると思いますが、見解は。

答弁を求める者 教育長

議 員 名	畑山 和晴
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 部活動地域移行の進捗状況は

【質問要旨】－簡明に－

令和4年第2回定例会において、部活動の今後の在り方についてを質問しました。

その際の答弁として、「運動部活動の地域移行は、生徒が生涯にわたって豊かにスポーツに親しむための環境づくり、教職員の働き方改革、そして、生徒数減少が想定される中での部活動維持の視点から必要な改革と考え、既に情報収集に努めております。現段階では、提言の内容を、市校長会や市内各スポーツ関係団体と情報共有を進めているところでございます。

学校同士の運営や部活動のクラブチーム化につきましても、スポーツ庁が提言を受けて、運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインを改定する予定であり、今後、運動部活動の地域移行について議論する中で検討してまいりたいと考えております」との答弁がありました。

定例会後、様々な動きがあったと思いますが、進捗状況について、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 サッカー部において、クラブチーム化が実証的に進んでいるとのことですが、実態は。
- 2 受け皿となるスポーツ団体等からの声はありますか。また、そのようなスポーツ団体に対しての声掛けや、意見交換など行っていますか。もしくは今後行う方向ですか。
- 3 地域移行にあたっては、教育委員会とスポーツ団体等の方々と保護者との話し合いが一番大切であると思います。今後の地域移行に対しての進め方は。
- 4 少子化や部活動に対する意識の変化等、現状を考えると、今後益々部活動の存続はかなり厳しい状況であるということ、教員含め保護者も感じています。思い切った施策が必要ではないでしょうか、見解は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	12
受付月日	2月20日(月)
受付時間	10:00

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月20日

富谷市議会

議長 青柳信義殿

富谷市議会議員 3 番 村上 治

質問方式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議員名	村上 治
質問方式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 インフルエンザ・帯状疱疹等ワクチンの助成について

【質問要旨】－簡明に－

電気代を始め様々なサービスや物価が想像を超える勢いで高騰しています。この傾向はまだまだ継続すると考えられます。ここ3年間の季節性インフルエンザの流行をみますと、コロナ禍1年目は、マスク・手洗い・うがいをコロナ対策として行ったため、インフルエンザの流行はほとんど見受けられませんでした。年々増加の傾向がみえてきました。国では本年3月13日をもって室内でのマスク着用等の緩和を予定しています。来年度は、インフルエンザ流行が拡大するであろうことは想像に難くありません。この対策としてのワクチン接種は重要です。子供を抱える親の負担軽減を図るため、本年同様に、インフルエンザワクチンの助成が必要と考えます。また、高齢者の医療費負担割合が増えたこと、国民健康保険や、後期高齢者の保険給付も増加の一途をたどっています。これを緩和する施策の一つとして、帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成が考えられます。このことについては、同僚議員から一般質問が何度も行われましたが、定期接種となっていないこと、副反応に対する補償が少ないことで状況を見ていくとの回答でした。ワクチンを打つことで、本人にとっては、り患することや後遺症に苦しむことも少なくなります。

【質問項目】－列記－

- 1 インフルエンザワクチン接種費用の一部助成について。
 - ① 令和4年度実施した、生後6カ月から中学3年生までへのインフルエンザワクチン接種費用の助成実績は。
 - ② 令和5年度以降、同様の助成を実施する必要があると思いますが、見解は。
 - 2 帯状疱疹ワクチンの一部助成について。
 - ① ワクチン接種による、国民健康保険や後期高齢者医療制度の医療費への減額効果について、見解は。
 - ② 定期接種と任意接種による健康被害に対する補償制度の大きな違いは。
-

答弁を求める者 市長

議員名	村上 治
質問方式	一括 <input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/>

No. 2 質問件名 団地内道路の補修促進について

【質問要旨】－簡明に－

令和3年第4回定例会において同様の質問をしました。この時の回答は1回目の補修が完了していない団地が、太子堂地区、東向陽台地区、富ヶ丘地区であり、これら3地区の補修に係る経費を試算すると約8億3千万円であり、現在事業化しているのが富ヶ丘地区とのことでした。スピードアップの必要性について質問したところ、令和3年度までは年額1千万円でしたが、令和4年度から倍増の2千万円となりました。しかし、このペースで補修していくと仮定すれば、終了までに40年以上の年数を要することになります。その後、他の地区の補修を開始するまでに、供用開始からの経過年数は、あけの平地区78年、ひより台地区76年、日吉台地区70年等となります。前回の回答で、「区画道路の補修がなかなか進まないのは、補助事業がなく、財源が起債による市の単独事業で財源的に難しい。」とのことでした。しかしながら、補修のさらなるスピードアップが必要と考えます。

【質問項目】－列記－

- 1 団地内区画道路補修をスピードアップする必要性があると思いますが、見解は。
- 2 団地内区画道路の補修に使える補助メニューは。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	13
受付月日	2月20日(月)
受付時間	10:33

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月20日

富谷市議会

議長 青柳信義殿

富谷市議会議員 6 番 藤原 峻

質問方式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 学校の校則について

【質問要旨】－簡明に－

2022年12月28日河北新報の記事に『生徒中心に校則見直し 東北にも徐々に浸透』という記事が掲載されました。「生徒が中心となって校則を見直す取り組みが東北でも出始めた。生徒が問題点を見つけて改善する取り組みには、対話を通して物事を解決する力を養う教育効果もある。国は柔軟なルール整備を促しており、活動はさらに拡大しそうだ。」という内容です。

文科省も2021年6月、全国の教育委員会に社会や時代の変化にあわせて校則を改めるよう求める通知を出しています。認定NPOカタリバは2019年から「みんなのルールメイキング」というプロジェクトを通じ、全国175校が情報共有しています。富谷市内でも生徒会を中心に改善がなされている中学校があることは頼もしく思います。今後、さらに広がることを期待して質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 国の校則見直しの通知について、どのように考えているのか。
 - 2 NPO法人カタリバのみんなのルールメイキングは、「学校の校則・ルールの対話的な見直しを通じて、みんなが主体的に関われる学校をつくっていく取り組みです。校則を変えることが目的ではなく、生徒や先生同士で対話を重ね、みんなの納得解をつくっていくプロセスを大切にしています」。富谷市として、この取り組みをどう考えますか。また、生徒と先生同士での対話を重ねるプロセスが必要では。
 - 3 ルールメイキングの4つのステップの1は、「知る」です。生徒に対しての校則変更の全国の事例を伝えることが必要では。
 - 4 NPO法人カタリバの事例を研修してはどうか。
 - 5 LGBT対応等、選択できる制服のその後の対応は。
-

答弁を求める者 教育長

議 員 名	藤原 峻
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 中学校の部活動を問う

【質問要旨】－簡明に－

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月）が策定されており、学校部活動の見直しの時期と考えます。

教育委員会策定の部活動での指導ガイドラインの指導の手引きには、「大会等で勝つことのみを重視し、過重な練習を強いることなどがないようにすること、健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育むという部活動の本来の趣旨を忘れず、バランスのとれた運営と指導が求められます」とあります。しかし、一日10時間を超える部活動の拘束時間、土日休みなしにより、疲れ果てているという生徒の声を伺っています。そして、保護者からは「子どもの未来を潰すようなことだけはしないで欲しい」という声があります。

【質問項目】－列 記－

- 1 指導ガイドラインは、部活動の一日の活動時間として平日2時間程度、休日は3時間程度が原則です。（準備、後片付けなど1時間は加えられる）校長の判断により活動時間を延長できる、とありますが、これはどの程度を想定されているのか。
- 2 土日10時間という、いき過ぎた練習時間に対して指導されていますか。「子どもの未来を潰さないで欲しい」という声を教育委員会はどうか受け止め、対策を講じるのか。
- 3 生徒に対して指導者が怒鳴り声をあげるのは教育なのですか。自己肯定感の低下につながると思えないのか。実際に「今後はやらない、続けたくない」と話す生徒もいるそうです。
- 4 部活動の意義、位置付け、役割などの研修は行われているのか。ガイドラインの位置付け、ガイドラインに沿った部活動の運営、指導はどのように実施されるのか。
- 5 長野県飯田市のように、部活動の無記名アンケートによる意見聴取が必要では。
- 6 部活動の外部化で指導者は確保できるのか。予算化を含めた検討が必要では。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	14
受付月日	2月20日(月)
受付時間	10:57

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月20日

富谷市議会

議長 青 柳 信 義 殿

富谷市議会議員 5 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 高齢者保健福祉、介護保険について

【質問要旨】－簡明に－

65歳以上の高齢者が、同じ65歳以上の高齢者を介護する「老老介護」、親等の介護をするために仕事を辞めなくてはならない「介護離職」が増加しています。

第三者のサポートが無ければ、共倒れになってしまいます。

市内での実態把握、介護者の相談体制の構築が必要です。

急激な社会変化により、必要な支援や問題も多様になっており、利用者にも介護者のニーズに合った支援が必要です。

また、高齢者の居住の確保、高齢になった親を呼び寄せたい、近くの施設に入所させたい等の声が多く聞かれています。

「第8期介護保険事業計画」の目標達成状況と、第9期の策定に向け、課題を見直す必要もあると考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 市内の65歳以上の高齢者世帯数について。
- 2 介護者への相談体制や、支援体制の状況について。
- 3 高齢者の緊急受け入れ体制について。
- 4 家族が休息できる、レスパイトの充実が必要では。
- 5 第8期介護保険事業計画のなかの居住の確保として、多様な住まいの確保とありますが、どの様なニーズがあり、どのように対応していますか。
- 6 持ち家の管理が難しくなった場合の、住み替えの支援が必要では。
- 7 他地域からの施設入所等の問い合わせ状況と、対応状況について。

答弁を求める者 市長

議員名	渡邊 清美
質問方式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 国民健康保険について

【質問要旨】－簡明に－

昨今の物価高騰は、市民生活に大きな影響を及ぼし、国民健康保険の保険料も負担になっています。

失業、生活困窮等での無保険は、受診控えだけではなく、命の危険にもつながります。

1カ月証を発行する自治体は少なくなっており、改善が必要です。

短期証の発行はやめ、加入者の生活実態の把握に努めることも必要です。

令和5年度には激変緩和措置が終了し、今後都道府県での保険料水準の統一化も行われ、急激な保険料の負担増加も考えられる事から、対策が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列記－

- 1 国民健康保険の加入状況について。
- 2 短期証の発行状況について。
- 3 短期証の交付を受けていない世帯への働き掛けの状況について。
- 4 保険料滞納世帯の生活実態の把握が必要では。
- 5 基金の活用と、今後の残高の推移をどのようにとらえているのか。
- 6 激変緩和措置終了後の保険料の変化は。
- 7 都道府県での保険料水準が統一化した場合の保険料の影響は。
- 8 保険料水準統一化について県との話し合いの状況は。
- 9 保険料の急激な上昇を抑える対策は考えているのか。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	15
受付月日	2月20日(月)
受付時間	11:03

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月20日

富谷市議会

議長 青柳信義殿

富谷市議会議員 10 番 若生 英俊

質問方式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	若生 英俊
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 市長三期目の「12の重点施策」の推進と都市計画税導入の検討について問う

【質問要旨】－簡明に－

「12の重点施策」のうち、宮城県が推進する4病院再編に伴う東北労災病院と県立医療センターの本市誘致については、本市の財政負担の内容や新病院立地による医療体制や周辺環境の変化等について、わずかな新聞情報のみであることから、疑問や不安の声が聞かれる。

基幹公共交通システムの整備促進については、業者委託による各種調査などに、すでに6千万円を超える事業費を支出している。これまで、泉中央から明石台に、事業費数百億円規模が見込まれる単線の地下鉄整備を、PFI方式での2040年開業を仮定する調査段階にある。

これらの施策実現と市民の福祉増進と市の発展に資するうえで、裏付けとなる財源を確保するための都市計画税導入に向けた工程を示す時期に来ている。

以下について質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 総合病院誘致について。
 - ① 東北労災病院と県立精神医療センターの合築による新病院が本市に移転した場合、60,000㎡の用地を求められているのか。
 - ② 新病院が目指す主な機能に、災害医療として「黒川地区初の災害拠点病院として貢献」が挙げられているが、黒川地区全体で応分の負担をする考えは。
- 2 基幹公共交通システムの整備促進について。
 - ① これまでの調査と新年度の「次世代都市交通システムの導入可能性調査」の関連性は。
 - ② 市長は、地下鉄延伸など交通アクセス向上に「次の期で結論を出す」と明言、と報じられているが、その真意は。
- 3 都市計画税導入の検討について。
 - ① 都市計画税導入の必要性の認識と検討は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	16
受付月日	2月20日(月)
受付時間	11:25

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月20日

富谷市議会

議長 青柳信義殿

富谷市議会議員 12 番 高橋 正俊

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	高橋 正俊
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 公共施設等総合計画について

【質問要旨】－簡明に－

本市の公共施設の多くは昭和50年代以降に整備されたものが多く、将来的な公共施設のあり方を検討する必要性は大きいと思います。

また、成田地区は平成7年頃から皆さんが住み始めていますが、30年近く経ち、最近、道路、歩道、公園などの劣化がひどくなってきているように感じます。

そこで、次の質問をします。

【質問項目】－列 記－

- 1 以前にも質問しましたが、富ヶ丘公民館の修繕検討はなされたのか。
- 2 富ヶ丘公民館の現状を考えると、修繕は早急にしなければならないと思うが、考えを伺います。
- 3 成田東小学校前の歩道の傷みが特にひどく、修繕が必要と思うが、考えを伺います。
- 4 成田地区のせせらぎ公園を中心に、今後修繕計画を立て、修繕を進められないのか伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	17
受付月日	2月20日(月)
受付時間	11:59

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月20日

富谷市議会

議長 青柳信義 殿

富谷市議会議員 4 番 塩田 智明

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和5年第1回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 1 質問件名 電気・ガス料金高騰対応の支援を

【質問要旨】－簡明に－

令和4年は世界情勢の影響などにより、光熱費の値上げがすさまじい年でした。市内の介護保険老人施設を調査したところ、令和4年の電気料金が対前年比1000万円増となっていたところもありました。

エネルギー価格は落ち着く気配がなく、東北電力では、令和5年4月以降の電気料金の値上げを申請しました。国は、「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の実施を予定しており、令和5年1月使用分(2月検針分)から令和5年9月使用分(10月検針分)までの電気代・ガス代が補助される予定ですが、NHKの調べでは、東北電力が申請した値上げがそのまま国に認められた場合、4月請求分からは再び、支払いは増えると言われており、家計や企業の負担が増す一方です。

本市では、これまで原油価格高騰物価対応に取り組んできましたが、現状の電気・ガス料金高騰に対応する対策を求め、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 現状の電気・ガス料金高騰に関する本市の認識、県や国への対策の要請などの取り組み状況を伺います。
- 2 電気・ガス料金高騰対応として、市民や事業者への支援金給付が必要と考えますが、見解は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	<input checked="" type="checkbox"/> 一括 一問一答

No. 2 質問件名 高校生への交通費補助の支援を

【質問要旨】－簡明に－

今般、若生市長から「12の重点施策」が示されました。富谷市総合計画の基本方針の一つに掲げている「教育と子育て環境を誇るまち」の関連では、市民図書館等複合施設整備、学校給食費完全無償化、子ども医療費完全無償化など子育て世帯にとって心強い施策が示されました。

また、本市の交通対策には、高齢者支援として「とみぱす」や市民バスの運行、デマンド型交通など、市民の足となる交通対策が推進されており、市民の方から「とても助かっている」との声が数多く寄せられています。

しかし、一番お金のかかる子育て世代、中間世代への支援が少ないという声もあります。前回の定例会で同僚議員も質問しましたが、高校生の通学に公共交通機関利用に対する定期代等の一部支援を求める市民からの声も少なくなく、高校生の交通費補助の支援が必要であると考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 高校生への交通費助成の支援が必要と考えますが、見解を伺います。
- 2 一律に補助する形だけではなく、公共交通の利用促進にもつながるような方策を調査研究する考えが示されましたが、検討状況を伺います。

答弁を求める者 市長